

『横浜国際社会科学研究所』執筆要領

H21 年 3 月 16 日 制定

R7 年 1 月 22 日 改正

I. 原稿の作成

1. 体裁

(1) 枚数制限：

日本語：パソコンを使用し，A4 サイズ，1 ページ 40 字×30 行で，横組みが原則（枚数制限 この体裁で図表を含めて 27 枚）．

原稿は原則として図表を含めて 32,000 字以内とします．

外国語：パソコンを使用し，A4 サイズ，1 ページ 42 行，この体裁で図表を含めて 20 枚．12,000 語を上限とします．

【参考】刷り上がりの形態（既刊号を参照して下さい）

日本語：1 ページ 21 字×40 行×2 段 = 1,680 字（字数制限 32,000 字）

上限 約 20 ページ（図表を含める）

外国語：1 ページ 42 行（字数制限 12,000 語）

上限 約 20 ページ（図表を含める）

(2) 表紙：タイトルと氏名を日本語と英語（外国語論文の場合は本文で使用した言語）で記載し，目次はつけないで下さい．

ただし，分割掲載を希望する場合は目次をつけて下さい．

(3) ページ番号：本文開始ページから必ず入れて下さい．

(4) 本文：最初にタイトルのみつけて下さい．レフェリー審査時の匿名性を確保するため，執筆者名や学籍番号等は記入しないで下さい．また，ご自身の論文や著書に言及する場合には，「拙稿」などの表現は避け，他の文献と同様の形式で引用するようにして下さい．

(5) 図表：以下の通り作成して下さい．

① 図と表は分け，通し番号をつけて下さい．

② 出来るだけ雑誌刷り上がり時の大きさに作り，本文とは別ファイルで提出し，本文中の余白に掲載位置を指定して下さい．ただし，刷り上がり時は誌面体裁の都合で多少位置がずれることがあります．

③ 他の著作物から引用する場合は，必ず出典を明記し，かつ必要に応じて原著者の了承を得て下さい．

2. 表記の統一

(1) 句読点：句読点は，（カンマ）と．（ピリオド）を使用して下さい．

(2) 見出し：つけ方は以下の例を参考にして記載して下さい．

① 大見出し（ローマ数字 I，II，III），中見出し（アラビア数字 1，2，3），小見出し（(1)，(2)，(3)）．さらに小小見出しとして（①，②または i，ii）等をつける．

- ② 大見出し（１），中見出し（１-１），小見出し（１-１-１）とする．さらに小小見出しとして（１-１-１-１）等をつける．
- （３）注：後注（endnote）または脚注とし，本文該当箇所の右肩に１），２），３）と入力して下さい．
- （４）約物・記号・符号：
- ① 出力できないものはハードコピーに明示して下さい．
- ② 音引き「ー」とダーク「—」，マイナス「-」とハイフン「-」，エックス「X」と数学記号「×」，漢数字「十」とプラス「+」など，見た目は似ていても意味が異なるものは確実に使い分けて下さい．引用のダークは２倍全角ダーク「——」をご使用下さい．
- （５）参考文献：
- ① 著者名・書名・発行所・刊行年（月）・ページ数等を，以下の例を参考に記載して下さい．
- ② 文献を欧文と和文とで分ける場合は，欧文は筆頭著者の姓のアルファベット順，和文は筆頭著者の姓のあいうえお順にして下さい．ひとつにまとめる場合は，各文献を筆頭著者の姓のアルファベット順にして下さい．
- ③ 同一発行年に同一著者による著作が複数ある場合には，（1999a）（1999b）のようにし，発表順に整理して下さい．

[例]

単行書の場合

田中道雄『現代中国の流通と社会』ミネルヴァ書房，2005年．

Mills, C. W., *The Power Elite*, Oxford University Press, 1995.

単行書中の論文の場合

小川和夫・北坂真一「資本市場における企業評価と設備投資」本多佑三編『日本の景気』有斐閣，1995年，pp. 23-47.

Saito, M., “An Empirical Investigation of Intergenerational Consumption Distribution: A Comparison among Japan, the US, and the UK,” in S. Ogura, T. Tachibana, and D. Wise eds. *Aging Issues in the United States and Japan*, The University of Chicago Press, 2001, pp. 135-167.

雑誌論文の場合

大島考介「不完備契約とPFI」『日本経済研究』第43号，日本経済研究センター，2001年，pp. 87-100.

Gayle, C. A., “Progressive Representations of the Nation: Early Post-War Japan and Beyond,” *Social Science Japan Journal*, Oxford University Press, Vol. 4, Issue 1, 2001, pp. 1-19.

※ これらの事項は原則であって，必ず従わなければならないものではありませんが，同一論文の中では統一された体裁を採用して下さい．

※ 上記執筆要領に従って，助手が原稿整理を行います．体裁等の変更を希望しない場合はその旨お申し出下さい．

Ⅱ. 原稿の提出

1. 原稿は Word ファイルをメールに添付してご提出ください.
2. 国際社会科学研究科または国際社会科学府のいずれかの博士課程後期の院生および国際開発研究科、国際社会科学研究科または国際社会科学府のいずれかの修了もしくは退学者で大学・短大等の教職歴のない人は、原稿提出時に、責任指導教員（投稿原稿の推薦者）より署名と印をもらった「論文掲載申し込み用紙」の提出が必要です. 提出間際に責任指導教員と連絡がとれない、ということのないようご注意ください.（論文掲載申し込み用紙は、学会のウェブサイトからも入手できます.）
3. 分割掲載を希望する場合でも、完成原稿をご提出下さい.
4. 1 回の論文募集時に投稿できるのは、論文 1 本です.
5. 原稿提出は提出期限の 1 か月前から受け付けます.
6. 抄録やキーワードのリポジトリへの登録を希望する場合は、原稿に記載いただいて構いません.
7. リポジトリに登録された抄録は商用目的のデータベースに蓄積される可能性があります.

Ⅲ. 著者校正

著者による校正は原則 2 回ありますので、ここで誤字・脱字や不備の訂正を行って下さい. レフェリー制度上、内容・本文の大幅な書き換えはご遠慮願います. はじめから完全な原稿の提出をするように心がけて下さい.